

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
高等学校	1年生のコミュニケーション英語Ⅰの授業では、次年度体験する修学旅行先（沖縄）の観光について学習を行った。授業では調べ学習の共有や英語で作成したスライドの集約と共有を行い、グループごとに英語による発表を行った。この授業によりグループ内で作成したデータの共有・収集の方法、英語による発表の機会、修学旅行への動機づけが行えた。
高等学校	3年生の国語の授業で、プレゼンテーション資料を作成する場面であらかじめロイロノート・スクールのシンキングツールを使って文章の要点をまとめた上で、具体例を考えさせた。シンキングツールを活用することで、本文をきちんと確かめることや論理性を意識することにつながった。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で使い方を教えあうこと。 ・自分の動きを動画で撮影し、確認できること。 ・アンケートを取ることで。 ・思考ツールを共有すること。 ・プレゼンテーションが行いやすいこと。 ・特徴など文字だけの情報を伝え、その条件に合う画像を探させること。
高等学校	プログラミング学習の場面で1人1台PCでWEB教材を活用することで個別最適化の学びが促進された。
高等学校	<p>・シンプルではあるが多くの授業で生徒から高く評価する意見が多かったのは黒板に提示したり、投影したりする資料等を手元の端末で共有すること。普段の授業では個々の生徒によってそれらの資料の見える部分や理解の速度等に差があり、手元の端末でも確認できるようになったことで理解が深まったとの声が非常に多かった。</p> <p>・数学、理科などを中心に GoogleFormやKahootなどを利用して問題演習を行った。ゲーミフィケーションの要素もあり、生徒の意欲化に繋がると共に副次的な効果として、教え合いが活性化する様子も見られた。</p> <p>・国語、地歴を中心にロイロノートの提出箱機能を利用し、それぞれの意見を色分けしたノートで提出させ、各自の意見を視覚化して提示した。生徒同士の意見が視覚化されることで+者の意見に関心を持ち、自身の意見と比較し、学習内容のより深い理解につながった。</p> <p>・英語ではJamboardやGoogleドキュメントの共有機能を用いて英作文や意見発表を行った。それにより、従来の形式よりもより効率的にある程度多い人数でもグループで意見や知識の共有を行うことができるようになった。</p>
高等学校	<p>国語 音声入力機能を活用し、読むこと（聞くこと）だけでなく、話すことにも重きをおいて生徒が授業に取り組んでいた。</p> <p>数学 ジャムボードを活用し、他者の解答・解法を可視化することで、これまでにない思考の深まりがあった。</p> <p>英語 ジャムボードを活用し、ゆるキャラグランプリを実施し、英語で紹介スピーチ、フォームを活用し、投票することで、英語への親しみが深まった。</p> <p>理科 Chromebookの活用することでシミュレーション可能となり、より多くの生徒が実験に参加することができた。また、実験結果をフォームに投稿し、実験データをグラフ化（可視化）することで思考が深まった。</p> <p>地歴公民 フォームを活用し、毎時間振り返りシートを実践することで、生徒の学習の振り返り及び本時の授業の生徒の反応の把握が可能となった。次時の導入に活用することで、つながりのある授業を実践できた。</p>
高等学校	2年生の物理の授業で、「自由落下」の実験結果をまとめる場面で、スプレッドシートを用いて数値入力を行った。それによってこれまで1時間要していた解析等の時間を大幅に短縮することができ、結果の振り返り、思考に多くの時間を割くことができた。
高等学校	探究の時間のまとめをgoogleスライドを使って行った。教員がURLを把握しておけば、進捗が分かりやすい。生徒間では共同で探究を行う際に、集まって作業する必要がなくなった。
高等学校	formを用いた練習問題をさせた時、その回答率と速度をリアルタイムランキング形式で表示してみたこと。生徒たちの意欲を喚起する効果が高かった。
高等学校	1年の国語（現代文）の授業において、好きな俳句や短歌を物語に作り変えたものをクラス全体で共有し、さらに互いにコメントを書き込むことができた。
高等学校	課題や実験レポート等をグループで同時に共同編集することで、他のグループの内容も共有できたこと。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
高等学校	意見の集約と全体での共有（ロイロノート、メンチメーター）が、特に保健での性教育などで発言しにくい場合、匿名で投稿することができ他者の考えを知ることができるので役立った。 1年生の現代社会の授業で、クロムブックからグーグルクラスルームにアクセスさせ、クラスルームに掲載されている問題演習の解答・解説を見ながら学習させた。この方法により、教師の説明を聞いても1回では理解できなかった生徒も、繰り返し解説を見ることができ、1人ひとりの学習ペースや理解度に応じた指導の一助となった。 2年古典の授業で作成した口語訳と解釈をJamboardで共有し、それぞれ手を加えたり線を引いて評価した。自信のない解答や、途中の状態でも情報を共有して即編集、追加、推敲ができて、途中発表に良い。 1年生の英語Iの授業で、英作文をスライドに打ち込ませて、グループメンバーの作文を読み合いさせた。その後そのスライドをプロジェクターで投影し、クラス全体で共有した。生徒の英作文をすぐに教室全体で共有できたので、真似したい表現や間違いやすい箇所の即時フィードバックにつながった。 絵画の授業では、風景画を描くにあたりもとなる写真を各自のスマホで撮影し、スマホから提出してもらった。授業中はchromebookを開いて写真の色合いなどをチェックしながら進めている。 1年生の数学Iの授業で、前時までの復習をアンケート形式で回答させ、その場で集計結果を共有した。授業の振り返りもまとめの時間に同じ形式で実施して理解度を確認できた。
高等学校	3年生の国語探究の授業で、スライドでの作品作成や発表、ジャムボードでの意見交換で活発な活動ができ、他者の考え方も分かりやすく共有できた。
高等学校	各教科で、ロイロノートのシンキングツールやjamboardを使った各自の意見を全体で共有する授業が展開されるようになった。他者の意見を瞬間的に確認でき、個人では気づかない事などに気づけ、生徒の意見が発展するようになった。
高等学校	1年生の情報処理の授業で、スプレッドシートにあるデータからグラフを作成し、jambordで、作成したグラフをグループ内で共有した。作成したグラフを比較することで、同じデータでもグラフの種類によって、相手へ伝わり方が違ってくることを確認することができた。
高等学校	生徒が解答を入力し、教員がそれを添削したうえで、その添削結果をクラスで共有し理解を深めさせる。
高等学校	3年生の物理の授業で、扱っている物理現象に関する動画を探したり、その内容の共有したりする時間をつくった。それにより、現象そのものに目を向けたり、関連する他の事例に目を向けたりするようになり、学習内容のつながりを考えることの意識が高まった。
高等学校	2年生の物理基礎の授業において、実験データをスプレッドシートに入力することで、グラフなど作成できるため、データの可視化が容易にでき、生徒も比較・分類などの考察がスムーズにできていた。（今まで行うとしたら、自分で紙にプロットする必要があった。） さらに生徒がスライドを用いて実験の考察について発表を行い、それを聞いていた生徒が次の自分たちの発表の際に、聞いて気付いたことなどを急遽プラスして発表を行っていた。 このような生徒の気付きからその後の展開や発表における着眼点が定まり、更なる生徒の気付きへとつながっていくという生徒の気付きの連鎖が起こったことで、学びが深化した。
高等学校	修学旅行の感想文を入力する際、ドキュメントの共同編集機能を用いることによって生徒間に一体感と競争意識が芽生えた。
高等学校	2年生の国語の授業で作者についての情報を投稿し合ったり、文章の主題について考えたことを共有したりした。それにより、意見交換が活発となり、生徒の内容理解が深まった。
高等学校	家庭の授業で、ジャムボードを用いて意見交換を行った。それにより、離れたところからでも他者の考えをじっくり見ることができただけでなく、意見の集約もしやすく、教員側も管理しやすくなった。
高等学校	探究活動のパワーポイント作成をスライドに変更したことで、生徒が編集やデータの提出することが簡単になった。また、教員も提出されたもののチェックが楽になった。
高等学校	美術の授業で、作成した作品をカメラ機能を使い、自分の気に入った方向、角度から撮影し、共有ドライブに保存させた。その後、他の生徒の作品を鑑賞しGoogleフォームで、感じ取ったテーマや作品の良さ、感想などを書かせた。他クラスの作品も容易に見ることができたので、例年より多くの作品について鑑賞アンケートをとることができた。他者からの多くの意見に触れることで、自分の気付かなかった点に気付くなど視野が広がった。
高等学校	数学では、formsを利用した小テストを授業中に実施し、すぐに生徒たちの理解度を確認することができ、学習の定着に向けた授業の実施が行われている。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめの状況調査をFormで行うと、即座にクラス全体の状況が確認できる インターンシップ成果発表会の評価をスプレッドシートでファイルを共有して行うことで、即座に評価が本人にも伝わり、後半の発表者の意識向上につながった Jamboardを使うことで、発言の難しい生徒も自分の意見を述べられるようになった
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> フォーム入力の結果を、生徒にリアルタイムでグラフ表示して変化の様子を確認させる授業は、参観していた先生方にフォーム活用の大きなヒントとなった。 プレゼンファイルを共有し、一人が1ページを利用する設定にすると、生徒の活動の様子を教員が把握しやすい。
高等学校	探究活動では、情報の共有、情報の保存のために、Chromebook・WindowsPCを利用した。特に2年から3年において行う融合プロジェクトでは、各クラス一人ずつ集まった班で探究活動を行うため、GoogleClassroom、GoogleDriveを有効に活用できた。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
高等学校	考査前にフォームを使って、生徒自身で問題を作成をした。それにより、テスト勉強にも繋がり、生徒の知識理解を深めることができた。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のスピーキング等、発表の様子を1人1台端末で撮影することにより、効果的に振り返ることができた。 ・ロイロノートにてJamboard等へのリンクのカードを作成することにより、ロイロノートをベースとしながらも様々なアプリも容易に活用することができるようになった。
高等学校	2年生の社会の授業で、生徒それぞれが調べたことを「Googleスライド」を活用し共同編集を行うことで、全員が1つのプレゼンを共有し、思考を深めることができた。
高等学校	3年生の現代文の授業でJamboardを利用して、意見を出し合うことで、普段あまり意見を発表できない生徒からも意見を引き出すことができた。また、簡単に人のいろいろな意見を見ることができると、そこから考えの幅が広がっていた。
高等学校	総合の授業で、グループ毎にスライドを作成するときにgoogleスライドの共同編集機能を用いた。それにより、効率が上がり調べ学習にかかる時間が増加し、より内容を深める学習を行うことにつながった。
高等学校	1年生の家庭の授業で、衣服についての意見を出す場面で、Jamboardを用いた。普段は意見をなかなか言えない生徒でもコメントを残すことができていた。
高等学校	社会と情報でツールを指定せずに、調査活動を行ったところ、目的に合ったツールを選択する力がついた。
高等学校	2年生が修学旅行後の自宅待機期間にリモートで動画を見せて問題に取り組みせ、ロイロノートを通じて解答を提出させて教員が添削して返却→生徒が間違いを直して再提出→添削→… というやりとりを国語・数学・英語の三教科で行いましたが、個に応じた細かい指導ができ、自分のペースで正解まで辿り着けるため、一斉に解説をする授業よりも満足度が高かったと思います。やり取りが1日中続きましたが、この形であれば教員も自宅勤務の形態で対応できるため、補習の代わりとして行うのも良いと思いました。
高等学校	地歴公民科の授業でこれまでと違い、図版やインターネットを活用しやすくなったので、視覚的にも分かりやすくてできるなど、バリエーション豊かな授業が増えた。
高等学校	<p>1, 2年生「コミュニケーション英語Ⅰ」の小テストをフォームズで行っている。アンケート形式の小テストのため、英語がかなり苦手な生徒でも、取り組んで提出できる。</p> <p>3, 4年生「異文化理解（英語）」で、ジャムボードの付箋機能を使って話し合い活動を行った。グループごとに別々の内容を話し合ったが、ジャムボードを共有することで、ほかのグループの考えに触れることができた。</p> <p>3, 4年生「異文化理解（英語）」で、生徒に調べた内容を発表させるためにGoogleスライドを使用した。共有をかけることで、グループごとに共同編集が可能になった。</p> <p>4年生「国語表現」の授業で、討論の準備をする場面で、ドキュメントの共同編集機能、ジャムボードの付箋機能を利用することで賛成反対チームごとの、話し合いがスムーズに行えた。また、司会者役の生徒が記録した討論の議事を録共有し、意見文の作成につなげることができた。</p> <p>3, 4年生「古典」の授業で、土佐日記の導入部分で、紀貫之、阿倍仲麻呂についてジグゾー法で考えを深める活動を実施する際に、ドキュメントの共同編集機能、ジャムボードの付箋機能を使用した。</p> <p>3, 4年生「石川の文化と歴史」において、生徒各自で調べ学習のため活用した。スライドを使用し、課題を提示し、生徒がテキスト『ふるさと石川』やwebサイトから調べて資料を作成。ドキュメントの「共同編集」により、他の生徒の内容や進行状況を参考にしながら自らの作成内容をレベルアップさせることができた。</p>
高等学校	選択授業の科目で、電子ホワイトボードツールを用いてKJ法の学習を行った。ファイルを共有することで、オンラインでのコミュニケーションをスムーズに行うことができ、テレワークのイメージが理解できた。
高等学校	<p>例1：4年次の地理Aの授業で、ロイロノートを用い、雨温図から気候の特徴絵お読み取らせ、その気候に適した食の在り方をシンキングツールで意見を出し合い共有した。</p> <p>例2：2年次の家庭総合の授業で、高齢者の健康寿命を延ばすために、できることをロイロノートのシンキングツールで考えさせ意見の共有をしまとめた。</p>
高等学校	1年「保健」の授業で、Chromebookを用いて、インターネットで調べ学習、ジャムボードで意見交換、最後にフォームで小テストを行い理解度を確認した。